



ウイン・パートナーズ 株式会社 | 第3期 株主通信 Vol.7
2015年4月1日～2016年3月31日

PARTNERS Report

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、日本の医療・介護需要は更に拡大すると見込まれております。国は地域完結型の医療体制の構築を進める為、様々な制度改革を行っており、その一つとして急性期・回復期・療養期に応じた病院機能の分化を進める動きがあります。顧客病院においても、制度改革の影響を受けることが予想されます。当社グループは顧客病院に対して地域における急性期医療の中核を担う存在となるよう、病院機能の強化をはじめとするバリューアップ（価値向上）支援に取り組んでいきます。医療制度改革は、顧客の課題解決という当社の提案力が活かせる絶好のビジネスチャンスと捉え、なお一層の業容拡大を目指します。

今後も、健康長寿社会の実現に向け、事業に邁進して参りますので皆様には今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

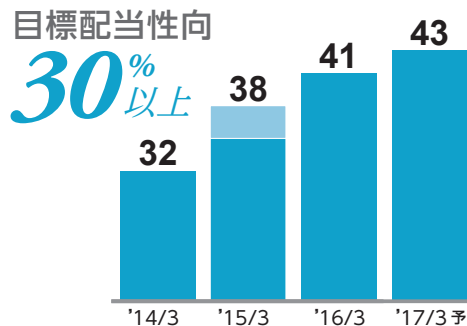


代表取締役社長 秋沢英海

連結財務ハイライト (2016年3月期)

	百万円	前期比
売上高	54,147	+7.1%
営業利益	2,965	+14.1%
経常利益	2,978	+13.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,111	+24.9%
1株当たり当期純利益(円)	147.11	+24.9%

1株当たり配当金 (単位:円)



※ '15/3の配当内訳：普通配当35円、東証一部記念配当3円

Q-1 当期の事業環境と経営成績についてご解説ください。

当期は当社グループの経営に大きな影響を与える診療報酬改定がない年でしたので、事業環境は比較的安定して推移しました。売上高に影響を与える症例数は全般的に増加した一方で、医療機関においては建築コストの高騰等により、設備投資を絞り込む動きが見られたほか、医療費抑制の影響などからコスト意識は高くなっております。

このような環境の中、当社グループは顧客医療機関の競争力を高める様々な提案を積極的に行い、新規顧客の開拓や既存顧客との取引拡大に努めました。

その結果、当期の連結業績は、売上高が前期比7.1%の増収、営業利益が前期比14.1%の増益、経常利益が13.4%の増益、当期純利益*は24.9%の増益と、ほぼ期初計画通りの着地となりました。とくに主力の虚血性心疾患関連(PCI)と心臓律動管理関連(CRS)の2分野が好調に推移しました。なかでもCRSは、不整脈治療の啓蒙活動やMRI対応型ペースメーカーの拡販等に注力した結果、売上高は前期比13.1%増と大幅な伸びを示し、当期業績の牽引役となりました。

*親会社株主に帰属する当期純利益

Q-2 今年度の診療報酬改定による事業への影響についてお聞かせください。

2年に一度実施される診療報酬改定では、診療報酬や医薬品の価格のほか、当社グループが扱う医療機器(医療材料)の保険償還価格(国が定める価格)の見直

しが行われます。2016年4月の改定では、薬価の引き下げは1.22%となった一方で、材料価格は0.11%にとどまりました。

診療報酬と保険償還価格

診療報酬

- 医療機関等が保険適用される治療を行った際に、支払われる報酬のことです。
- 医療技術、薬剤・医療機器等の材料等に対して支払われます。
- 2年に1度、国によって見直しが行われます。

保険償還価格

- 保険適用される医療機器は、機能に応じて分類され、分類毎に公定価格が設定されており、保険償還価格と呼びます。

とはいえ、今回の価格改定は、当社グループの連結売上高を約5%押し下げる要因となります。このマイナスの影響を跳ね返すのは決して容易なことではありませんが、医療費の抑制という日本にとって非常に

大きな課題に対して、一層の経営努力を通じて価格改定の影響を吸収するだけでなく、より身体への負担が少ない低侵襲医療の普及を進め、さらなる業容拡大につなげていきたいと考えています。

Q-3 次期の業績予想についてお聞かせください。

先ほども申し上げたとおり、保険償還価格のマイナス改定が減収要因となるものの、販売数量拡大で十分にカバーできると考えており、引き続き提案型営業によって新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に努めてまいります。連結業績については売上高566億円(前期比4.5%増)、営業利益30億円(前期比1.2%増)、経常利益30億円(前期比0.7%増)を予想しています。

当期純利益[※]は前期の有価証券売却益がなくなるため、20億50百万円(前期比2.9%減)となる見込みです。市場の拡大が期待できる心臓律動管理関連(CRS)分野に経営資源を重点的に投入するほか、既存顧客に対しては集患や診療領域拡大の提案を行い、院内シェアを上げていく計画です。配当金につきましては2円増配の43円を予定しております。

※親会社株主に帰属する当期純利益

2017年3月期連結業績予想

	百万円	前期比
売上高	56,600	+4.5%
営業利益	3,000	+1.2%
経常利益	3,000	+0.7%

	百万円	前期比
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,050	▲2.9%
1株当たり 当期純利益(円)	142.82	▲2.9%

※予想値は2016年5月11日の公表値

Q-4 中長期的な成長戦略についてお聞かせください。

当社グループは、重症度の高い患者さんに対して高度で専門的な医療を提供する急性期病院との取引に特化しており、専門知識ときめ細かなサポート体制を強みとして、仕入先メーカーや顧客病院からの信頼を勝ち取ってきました。国の医療制度改革では今後、病院機能を明確化し、急性期病床を削減していく方針が決まっていますが、当社グループは今後も、急性期市場を主なターゲットとし、マーケットシェアの拡大を目指します。

急性期病床の数が減る中で患者数は増えていくこ

とから、当社グループの顧客病院により多くの患者さんが集まるように最先端技術の導入をサポートしたり、医師や医療チームを紹介し、診療科を増やす支援を行うなど、病院経営支援にもさらに注力してまいります。当社グループは早くから、医療機器の適正使用支援や病院の価値向上のためのバリューアップ支援といったサービスの提供に取り組むなど、顧客への提案に力を入れてきたという自負があります。今後はさらにこの強みを活かし、成長を続けていく考えです。

Q-5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループは、国民の皆様健康で幸せな生活を支える医療機器商社として、「すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ」の高い志を持って事業活動を展開しております。より多くの方に当社グループの事業活動を知っていただきたいと願っており、皆様への情報発信、広報活動には今後さらに

力を入れていく考えです。投資家説明会の継続的な開催など、対話の機会も積極的に設けていきたいと考えております。

株主の皆様にはなにとぞ、当社グループの事業活動にご理解を賜り、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

クオリティ・オブ・ライフ（QOL）とは、生活の質という意味で、人それぞれの価値観が反映されます。私たちは、QOLを人々が生涯にわたり、健康で充実した日々を送れること、つまり、「健康幸福寿命」を享受することだと考えます。人々の「健康幸福寿命」の伸長に貢献することが私たちの社会的使命と考え、すべての人のQOL向上に努めて参ります。



WINはQOL推進企業です

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	当期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	50,558	54,147
売上原価	43,862	46,882
売上総利益	6,695	7,264
販売費及び一般管理費	4,096	4,299
営業利益	2,599	2,965
営業外収益	30	13
営業外費用	2	0
経常利益	2,626	2,978
特別利益	4	294
特別損失	1	182
税金等調整前当期純利益	2,629	3,090
法人税等	938	978
当期純利益	1,690	2,111
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,690	2,111

Point

売上高・経常利益

営業エリア拡大に伴う新規顧客の獲得を図るとともに、グループの販売力を活用して主力商品の一括買取を行うこと等により利益率の改善に取り組んだ結果、増収増益となりました。

Point

親会社株主に帰属する当期純利益

投資有価証券売却益を計上したこと等により増益となりました。

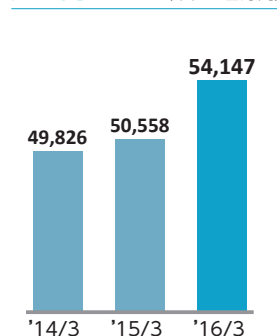
連結包括利益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	当期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
当期純利益	1,690	2,111
その他の包括利益	52	△155
包括利益	1,743	1,955

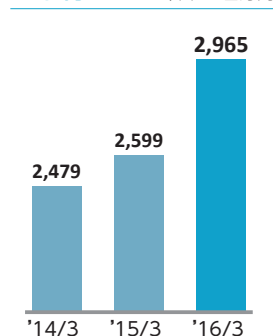
売上高

(単位：百万円)



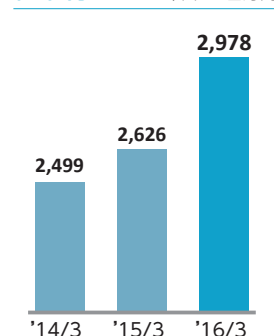
営業利益

(単位：百万円)



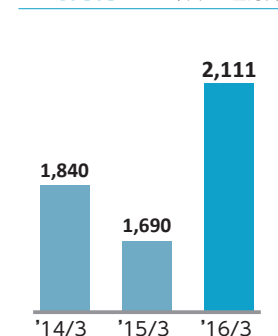
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表(要旨)

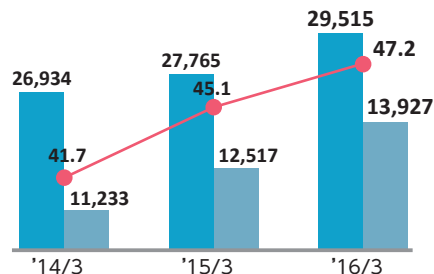
	前期末 2015年3月31日	当期末 2016年3月31日
資産の部		
流動資産	24,537	26,624
現金及び預金	7,238	9,285
受取手形及び売掛金	14,512	15,137
商品	2,106	1,475
その他	679	725
固定資産	3,228	2,891
有形固定資産	2,311	2,272
無形固定資産	255	210
投資その他の資産	661	407
資産合計	27,765	29,515
負債の部		
流動負債	14,821	14,903
支払手形及び買掛金	13,758	13,477
その他	1,062	1,425
固定負債	427	684
負債合計	15,248	15,587
純資産の部		
株主資本	12,383	13,949
資本金	550	550
資本剰余金	2,272	2,272
利益剰余金	10,099	11,665
自己株式	△537	△537
その他の包括利益累計額	133	△22
純資産合計	12,517	13,927
負債純資産合計	27,765	29,515

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	前期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	当期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△312	2,294
投資活動による キャッシュ・フロー	△553	298
財務活動による キャッシュ・フロー	△459	△545
現金及び 現金同等物の期首残高	8,563	7,238
現金及び現金同等物の 期末残高	7,238	9,285

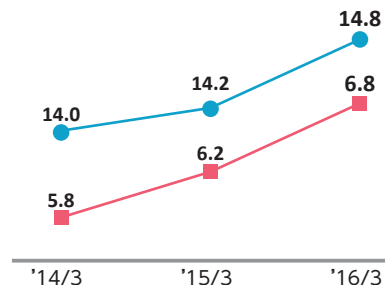
総資産／純資産／自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 (百万円) ● 自己資本比率 (%)



ROE／ROA

● ROE (%) ■ ROA (%) ※特別損益を除く。



営業活動によるキャッシュ・フロー

純粋な営業活動によって得られた収入が3,241百万円ある一方、法人税等を952百万円支払ったこと等により、2,294百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却により381百万円、保険積立金の解約により106百万円の収入がある一方、有形固定資産の取得により235百万円の支出があったこと等から298百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前期の配当金を支払ったこと等により545百万円の支出となりました。

6%

大型医療機器関連

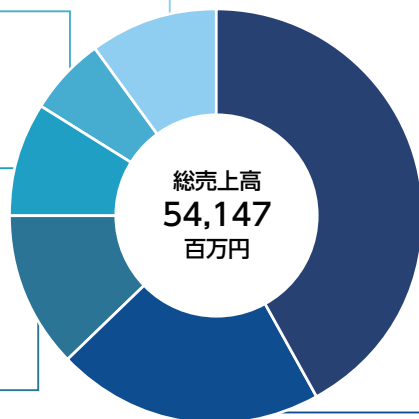
9%

末梢血管疾患関連 (PPI)
及び脳外科関連

12%

心臓血管外科関連 (CVS)

分類別売上高構成比

総売上高
54,147
百万円

10%

その他

42%

虚血性心疾患関連 (PCI)

21%

心臓律動管理関連 (CRS)

主要分類別売上概況

● **虚血性心疾患関連 (PCI)** 前期比 **+7.4%**
集患支援の提案を積極的に実施し、新規顧客の獲得と既存顧客の深耕に努めたことにより、薬剤溶出型ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテルの販売数量が伸長しました。

● **心臓律動管理関連 (CRS)** 前期比 **+13.1%**
不整脈の治療法で使用するEPアブレーション関連商品やMRI対応型のペースメーカーの販売数量が伸長したほか、営業エリア拡大に伴う新規顧客の獲得が進みました。

● **心臓血管外科関連 (CVS)** 前期比 **▲0.7%**
大動脈瘤の治療法で使用するステントグラフト関連商品の販売数量は伸長しましたが、段階的な償還価格改定の影響により減収となりました。

● **末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連** 前期比 **+10.8%**

経皮的シャント拡張術の症例数が増え、PTAバルーンカテーテルの販売数量が伸長しました。

● **大型医療機器関連** 前期比 **▲17.0%**
医療施設の新築・増改築の情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行うも、建築コストの高騰や消費税率の引き上げに伴う需要の減退等により減収となりました。

● **その他** 前期比 **+21.8%**
循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図り、消化器関連や糖尿病関連の販売数量が伸長しました。

主要分類取扱製品

◆ 分類

◆ 主な医療機器

PCI

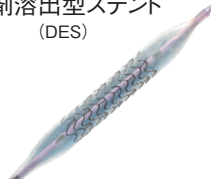
主な疾患

- 狭心症
- 心筋梗塞

PTCA
バルーンカテーテル



薬剤溶出型ステント
(DES)



血管内超音波 (IVUS)
診断カテーテル



CRS

主な疾患

- 不整脈



ペースメーカー



植込型除細動器
(ICD)



両室ペーシング機能付き
植込型除細動器 (CRTD)



心筋焼灼術用
カテーテル

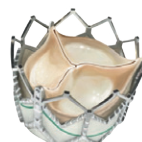
CVS

主な疾患

- 大動脈瘤
- 大動脈弁狭窄



ステントグラフト



経カテーテル的大動脈弁留置術
(TAVI) 用生体弁

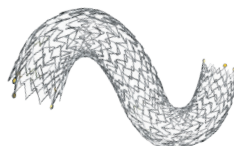


機械弁

PPI及び 脳外科関連

主な疾患

- 下肢閉鎖性
動脈硬化症



末梢血管用ステント



頸動脈用ステント



塞栓用コイル

その他

主な疾患

- 糖尿病
- 検査

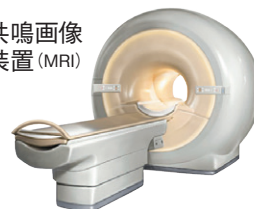
インスリンポンプ



移動式X線
撮影装置



磁気共鳴画像
診断装置 (MRI)



IR活動のご紹介

個人向け会社説明会を開催しました。

ひとりでも多くの方に当社グループを理解していただく為、積極的に個人投資家説明会を開催しております。代表の秋沢が直接、事業や戦略について説明し、投資家の皆様との対話に努めております。当時は約700名の方にご参加いただきました。説明会で寄せられた皆様のお声は取締役会で共有し、経営にも反映しております。

説明会にご参加できなかった皆様にも、当社ホームページにて説明会の動画や資料をご覧くださいことができます。



WIN PARTNERS

英文のホームページを開設しました。

外国人投資家向けの情報開示にも積極的に取り組んで参ります。



英文のホームページ



英文の決算説明資料

会社概要

(2016年3月31日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本店所在地	東京都台東区台東四丁目24番8号
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	422名（連結）

役員

(2016年6月23日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	秋田 裕二
取締役	松本 啓二
社外取締役	間島 進吾
社外取締役	白田 佳子
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) 2015年6月25日に監査等委員会設置会社に移行しました。(※は、監査等委員)

株式の状況

(2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,251,655株
株主数	2,420名

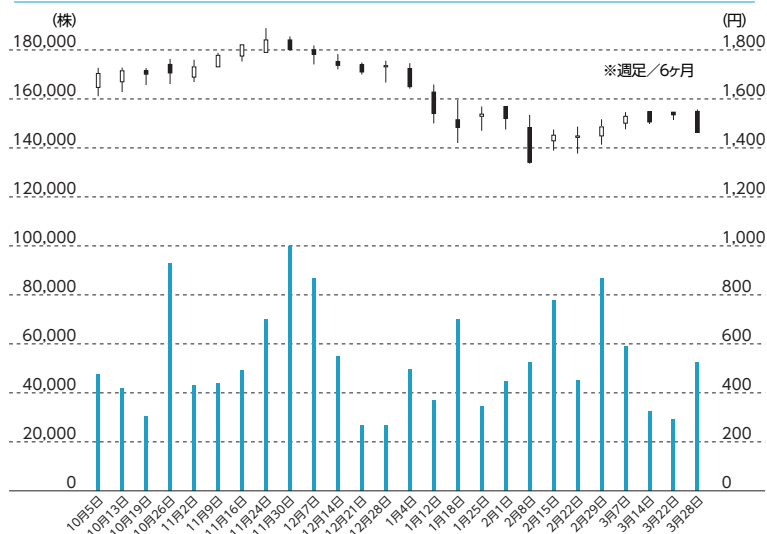
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	2,750,000	19.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,373,800	9.6
株式会社キエマ企画	945,500	6.6
秋田裕二	856,545	6.0
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	5.6

(注) 持株比率は自己株式897,474株を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移

(期間：2015年10月～2016年3月)



IRカレンダー



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	期末配当金 3月31日	連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
公告方法	電子公告 http://www.win-partners.co.jp/koukoku/ やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。		

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒110-8558 東京都台東区台東4-24-8
TEL: 03-6895-1234

www.win-partners.co.jp



WINはQOL推進企業です